

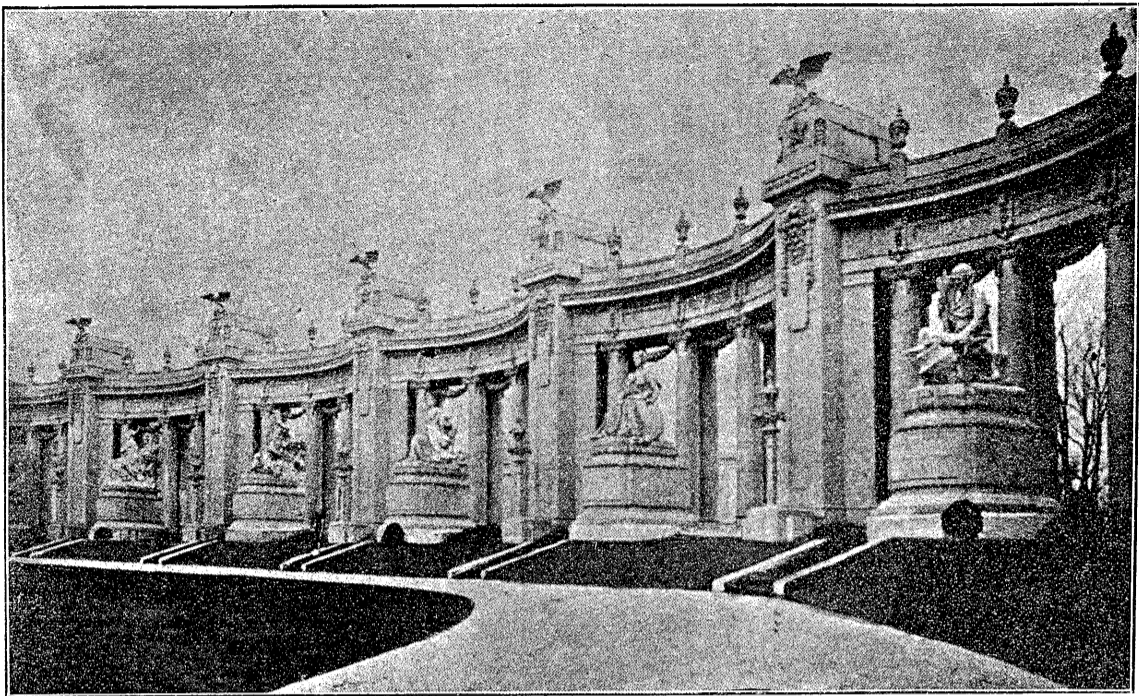
あめりかだより

(一其) 續

在米 大村西崖氏

瀑布は式場の前より落つるのみならず、左右圓堂

にして手を舉げ足を浮べて颯然として空中に漂ひ、脚下に一大鷗の翔るあり。『大西洋の神』は壯嚴なる成人の男子にして鷺鳥に伴はれて雲上に立たり。是等の諸像は皆イサドル、コンチ(Isadore Konti)の製作するところとす。以上の諸彫塑品中東西兩洋の神像の獨り金色もて装はれたる外、建築と共に皆一様なる灰白色にして且煩はしきまでに餘り數多く羅列せられたるをもて亂雜にして引立たざるは遺憾なり。殊に瀑布の水もまた濁りて建築及び彫塑と略同色を示し、またさまで引立ちて見えざるは、蓋し設計の一失なり。



作 ア ダ ル カ (圖十第) 像 女 座 四 十

の前よりしてまた各々一條數段の瀑布を落せり。その水源は裸體の神像の立てる圓盤にして、水の段を成せるごとくまた江海神婢(Nereids、第七圖)及魚に戯る裸體の諸彫像ありてこれを裝飾せり。水源の像はその東方なるものを『太平洋の神』(第八圖)としその西なるものを『大西洋の神』(第九圖)とす。『太平洋の神』は秀麗なる裸身の少女

作「カンサス」、ツェルアラ(August Zeller)の作「コロラド」及「チムム」(Brunno Zimm)の作「北極星」これなり。而して柱列當體の左右圓堂に接する終端にはその頂に各々の群像あり。一は裸身の女像の脚下に在りて牛角を抑へたる壯士にて、一は衣を着けたる女像の下に互に手を握れる二男あり。前者はアルファノ(Vicenzo Alfano)後

者はリュウウル(Alexander Reul)の作に係る。その餘柱列を裝飾せる鷺の彫塑はロス(F. G. R. Roth)の造型に成れり。セントルイ廣庭の左右、東に工業館、西に工藝館を隔て工業館と工藝館との間にオルレヤン廣庭あり。工藝館と通運館との間にセント、アントニイ廣庭あり。この兩庭より丘上なる左右の圓堂に向ひ進めば、東は右に教育館、左に鑛業館あり、西は左に電氣館、右に機械館あり。各々の兩館の間には式場前の中央池より通じたる濠ありて濠の左右に大道を通じ、以て圓堂の丘に登るべき階段に致らしむ。この階段の下、東西各々の馬上のインヂヤンの單像ありて濠に向ひて立てり。その西なるは挑戦のさまを示す(第十二圖)。會場諸彫塑品の最佳作の一に數ふるに堪へたり。これより上、階段の左右には米國史上に効蹟ありし故人の

聖路易博覽會彫像 (第十一圖) シユワルツ作



聖路易博覽會美術館内吾が日本部と壁一重なる露國の預分たる一室は久しく何ものをも設備するなく打捨てありしが過般着荷と共に非帝の勉勵を以て已に陳列を了れり。一見するに流石に露國は油繪の名家を出せし國だけありて一般に筆意若からず確かに美術館中英佛獨伊の次に

汀 鶯

背像二十餘軀を安置せり。その大者皆等身に過ぐ。アマムス(Herbert Adams)の作「ナルキエ」(Paulio Narvaez)、「クレン」(Clement J. Barnhorn)の作「マヒニ」(Anthony Wayne)、「ジュリア」(Julia M. Bracken)の作「モノ」(James Monroe)、「カランダ」(Sterling A. Calder)の作「ノ」(Philippe Francois Renaud)、「ダリン」(Cyrus E. Dalin)の作「マ」(Pere Marguette)第十三圖「ピア」(Scott J. Harley)の作「プレ」(Plene Laclède)、「リ」(August Lunkemann)の作「リ」(Robert Livingston)、「メ」(Janet Scudder)の作「マ」(James Madison)、「ボ」(Louis J. Potter)の作「マ」(Andrew Jackson)、「ロ」(Charles Loper)の作「マ」(Mar-tinweher Lewis)及「マ」(Blenville)、「マ」(F. W. Ruckstuhl)の作「マ」(Willia

指へらるゝなるべし。先づ正面に現皇帝陛下の背像を掲げ、其左右には裸體畫を以てす、又大なる裸體美人あり。艶麗に失せず大に見るべきものあり。而して今日の場合、一寸目に着くは奮戦後の慘狀を畫ける油繪なり、中央に主なき一馬天を仰いで嘶くの狀と、其前後左右に四五の戦士が倒れたる所、日本と背中合せなる丈けに人をして一種の注意を以て見るならんと思はしむ。夫はさて置きては反對に日本は露國の足元にも及ばず、美術館油繪の戦ひに於て露國の爲めに日本油繪は蹂躪せられたるなり云々。

